[果樹部門 平成29年度 指導参考資料]

			1										
事	項	名	おうとう「ジュノハート」の結実果の判別方法と適正着果量										
ね	Ġ	い	おうとう「ジュノハート」は大玉で食味の良い品種であるが、結実の良い年には着果過 多となることもある。果実横径を指標として結実果を判別でき、より高品質な果実を安定 生産するための適正な着果量が明らかとなったため、参考に供する。										
	指 導 参 考 内 容	導 参 考 内											
期待効	寺され	_	摘果を適切に行うことで「ジュノハート」の特徴である3L~4Lの大玉果実の割合を 高められ、高品質果実の安定生産が可能となる。										
	用上意事												
	合わt 話番・		りんご研究所 県南果樹部 (0178-62-4111) 対象地域 県下全域のジュノ 及び経営体 ハート作付経営体										
発表	長文南	(等	平成23~28年度 試験研究成績概要集(特産果樹) (りんご研究所)										

【根拠となった主要な試験結果】

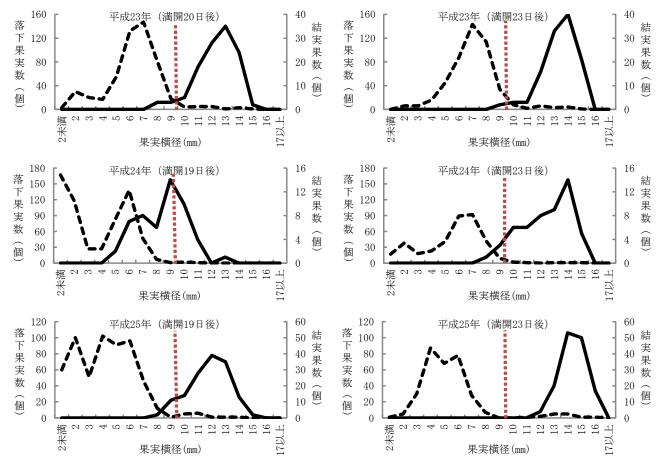


図1 満開19~23日後の果実横径頻度分布(平成23~25年 青森りんご研県南果樹) (注) ******** 落下果実、 **----** 結実果

表1 摘果処理が「ジュノハート」の果実品質に及ぼす影響(平成25、27、28年 青森りんご研県南果樹)

	各側枝の摘果強度	1 花束状短果枝		平均	着色	果実規格別				果実品質		
年度	「1花東状短果枝 〕	当たり着果数(果)		果重	指数	の割合(%)			糖度	酸度	食味	
	当たりの結実数	処理後	処理前	(g)	(1-5)	4L	3L	2L	LUF	(%)	(%)	指数
H25	最大1果 最大2果 最大3果	1. 00 1. 68 2. 33	-	10. 2 10. 4 10. 5	4. 4 4. 4 4. 1	3 1 3	49 31 40	36 51 47	12 19 10	17. 7 18. 3 17. 4	0. 440 0. 485 0. 430	3. 0 4. 0 3. 3
	無 摘 果	3. 11	_	9. 2	4. 2	0	12	57	31	17.8	0.391	3.0
H27	最大1果 最大2果 最大3果	1. 01 1. 68 1. 94	1. 78 2. 20 2. 27	14. 1 13. 5 14. 0	4. 9 4. 7 4. 6	55 46 54	43 43 43	2 11 3	0 0 0	23. 0 21. 8 21. 4	0. 330 0. 345 0. 392	4. 0 4. 0 3. 3
	無 摘 果	1. 68	1. 68	13. 4	4.8	40	52	7	1	21.9	0. 328	4.0
H28	最大1果 最大2果	1. 00 1. 66	2. 12 2. 46	11. 9 11. 8	4. 5 4. 4	14 8	53 57	33 32	0 3	18. 8 18. 1	0. 352 0. 350	3. 7 3. 7
	無 摘 果	2. 52	2. 52	11.2	4. 1	6	46	42	6	19. 1	0. 357	3.0

(注) 1 供試樹:アオバザクラ台、平成28年で11年生、1区1側枝(3反復)

2 摘果日:平成25年:満開25日後(6月12日)、平成27年:満開25~28日後(5月22~25日)、

平成28年:満開23日後(5月25日)

3 平均果重及び着色指数:処理区の健全果の平均

4 着色指数:1 (着色なし)~5 (全体が赤色に着色)

5 果実規格: 4L(横径31mm以上)、3L(横径28mm以上31mm未満)、2L(横径25mm以上28mm未満)、

L以下(横径25mm未満)で区分

6 果実品質:処理区の健全果から着色指数4以上、規格3L~4Lの果実を10~20果抽出して調査(平成25年

のみ健全果から無作為に30果抽出)

酸度はリンゴ酸換算。食味は1 (不良) ~5 (良好) の5段階で調査者の評価